

涼を感じる情報がいっぱい



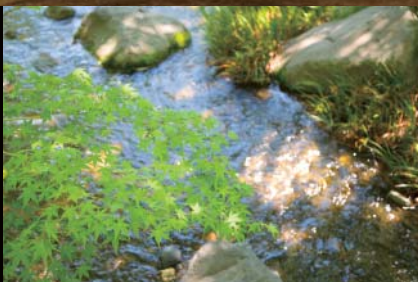
中央線が好きだ。

magazine

vol.8 2016

青女歩の達人

涼



中央線発見帖

幻のビールが復活!
多摩の地ビール
TOYODA BEER

涼沿線 TOPICS

水辺をめぐるひんやり散歩
夜空を焦がす大輪の華
冷え冷えの味で暑気払い

TOYODA BEER

330ml 500円
商品についての問い合わせは、
日野市産業スポーツ部産業振興課
☎042-585-1111
「TOYODA BEER」ウェブサイト
<http://toyoda-beer.tokyo/>にて
取扱店を紹介。

当時のスペルもそのままリアルに復刻!

当時のラベルを忠実に再現。「MINAMI TAMO」「DAINITSUPON」の2カ所は、現代では「MINAMI TAMA(南多摩)」「DAINIPPON(大日本)」と表記されるが、当時使われていたスペルもあえてそのまま再現したという。

明治の時代に思いを馳せて飲みたい その味わいとは……

TOYODA BEERは低温の下面発酵で約1カ月かけて醸造される。使われている麦芽は4種類、一般的な黒ビールのローストした麦芽も用い、飲めばまずホップの爽やかな香り、そして深いコクと旨みの奥行きある味わいが続く。まだ生産量も少ない希少なビール、この夏、現地へ訪れて飲んでみたい。

TOYODA BEERの樽生は中央線沿線のここで飲める!

ワイン厨房 KOKICHI

DATA JR中央線豊田駅から徒歩約1分。11時30分～14時・17時30分～23時(日曜・祝日は17時～22時30分)、火曜休。日野市多摩平2-3-1 ☎042-587-9533

BAR&DINING River Side

DATA JR中央線日野駅から徒歩約1分。17時30分～翌2時(日曜・祝日は～24時)、無休。日野市新町1-19-1-2F ☎042-584-1044

日野産大麦も栽培中！ 目指すは“真の地産地消”ビール

TOYODA BEERは市内の飲食店や酒販店で販売され評判も上々とのこと。「地域ブランドとして、いいスタートができました。まずは地元の方々に飲んでいただき、しっかり定着させていきたいですね」と語る佐野さんだが、日野市には次の目標もあった。TOYODA BEERを地域ブランドとして確立していくために、単なる復刻ビールではなく地元産の大麦を使った地産地消商品にしていきたいという。現在、日野市内の農家の協力のもと大麦の栽培が行われ、収穫された大麦の麦芽を使ったビール造りが試験的に始まっている。時間はかかりそうだが、将来的には日野産大麦100%のTOYODA BEERができることを楽しみに待ちたい。



どんなビール製法だった？ 決め手は当時の新聞広告

ビール造りを担ったのは、同じ頃にビール醸造を行っていた福生市の石川酒造。石川家と山口家は酒造家であると同時に親戚関係もあったのだ。TOYODA BEERの製造にあたった石川酒造の小池貴宏さんは、「製造方法については明確な資料が残っておらず、当時のことを想像しながら造るしかなかったですね。ラガー製法の中でも一般的なピルスナータイプではなく、黒ビールのモルトを使ってコクを出しました」と振り返る。



石川酒造株式会社
小池 貴宏さん

後ろにあるのは明治の頃に使われていた、麦芽などの材料を煮る仕込釜、通称「山口釜」。当時、石川家から山口家へ日本酒造りの、山口家から石川家へはビール造りのノウハウが伝えられたという。



石川家のビールと山口家のビールが並ぶ当時の新聞広告。ここにあった「独造醸造法」というわずかな文字の記載を頼りにドイツの醸造法であるラガー製法で造るという方向性が決まった。



幻のビールが復活！
歴史とともに味わいたい
多摩の地ビール
TOYODA BEER

涼をあそぶ
中央線
発見帖
CHUO LINE SKETCHES

冷えたビールがたまたまなくおいしい季節がやってきた。ビールといえば、ここ数年でまた地ビール人気が高まり、各地でさまざまな地ビールが醸造・販売されるようになった。中央線エリアでも、かつて豊田で作られていた幻のビール「TOYODA BEER」が一世以上以上の時を超えて昨夏登場。日野・豊田エリアを中心にジワジワと注目を集めている。

掘り起こされた 知られざる歴史

豊田村(現・日野市豊田)の旧家で酒造りを行っていた山口家で、明治期の数年間「TOYODA BEER」というビールが造られていたことは、最近まであまり知られていなかった。「ところが平成25年に日野市が行った文化財調査で、ビール貯蔵所跡や大量のビンの破片が発掘されたり、蔵の中から当時のラベルやコルク、写真乾板などが発見されたんです」と語るのは日野市産業スポーツ部の佐野雅夫さん。これをきっかけに、かつて豊田でビール醸造が行われていたことを市民に知ってもらいたいと、日野市が中心となってビールの復刻プロジェクトが立ち上がったのだ。



当時は王冠で栓をする技術がなかったためビールにもコルク栓が使用されていた。山口家の蔵からはそのコルク栓も発見された。



日野市 産業スポーツ部 産業振興課
佐野 雅夫さん

発見された写真乾板。大正期に撮影されたものだが、かつてのビール貯蔵所が蔵として再利用されている様子が残されていた。

石川酒造の復刻地ビール 「多摩の恵」

石川酒造の自社ブランド「多摩の恵」もまた明治20年に自社で造られていたビールをよみがえらせたもの。敷地内にある井戸で地下150mからくみあげた天然水で仕込み、ろ過も加熱処理もしていない。石川酒造併設のレストランで味わえるほか、多摩地区の飲食店や酒販店などで販売されている。



多摩の恵 ペールエール
500ml 626円

DATA 石川酒造：JR青梅線拝島駅から徒歩約15分またはタクシーで約6分。10時～18時(売店)、11時30分(隔週金曜は17時)～LO 20時30分(レストラン)、売店は無休、月・火曜休(レストラン「福生のビール小屋」、水・木曜休(レストラン「雑蔵」)。福生市熊川1 ☎042-553-0100(土・日・祝を除く8時30分～17時30分) ※石川酒造ではTOYODA BEERは提供していません。



国分寺駅

**全国名水百選の水が流れる地で育つ新鮮野菜
野菜の直売所**

国分寺エリアには今も農家が多く、地場野菜は「こくべじ」の愛称で人気を呼んでいる。お鷹の道の周辺を歩いていると自宅や畑の前に設けられた農作物の販売所をよく見かける。料金箱を置いた無人販売もあるが、採れたての野菜を並べている農家の方の姿も。営業日も営業時間も並ぶ作物の種類もその日の収穫次第だが、新鮮でおいしい野菜を目当てに多くの人が立ち寄りていく。

DATA (写真上)永澤カネさんの直売所:JR中央線国分寺駅南口から徒歩約13分。国分寺市東元町3-9-24 / (写真右)小柳照子さんの直売所:JR中央線国分寺駅南口から徒歩約10分。国分寺市東元町3-17-9



COLUMN 水の恵み

武蔵野台地の豊かな水が生み出す、豊かな味

涼しげな風景を作り出している、中央線沿線の豊かな「水」はおいしい食べ物にも大きな関わりがある。



武蔵小金井駅・東小金井駅

水のかでさらにおいしく

「黄金の水」グルメ

小金井の「黄金の水」は、食のプロたちの間でも評判だ。地元産の野菜を使ったカレーが人気の「CAFE an」では、毎日汲んだ水でコーヒーを淹れている。味がまるやかになると好評とのこと。素材にこだわるパン店「ファンタジスタ」では、黄金の水でパンをこねる。イースト菌のふくらみが違ってくるのだとか。



DATA CAFE an: JR中央線武蔵小金井駅北口から徒歩約8分。11時~14時、土・日曜・祝日休。小金井市本町3-8-1 ☎042-385-1126
ファンタジスタ: JR中央線東小金井駅北口から徒歩約3分。8時~20時、日曜休。小金井市梶野町5-6-4 ☎042-382-8083



武蔵小金井駅

**地名の由来を裏付けた
おいしい水
黄金の水**

小金井は「黄金に値する豊かな水が湧く井戸」に地名が由来するといわれる水豊かな地。武蔵小金井駅南口の中央商店街の一角「六地藏」の敷地内に掘られた井戸の水にその名がつけられた。国内では珍しい中硬水で口当たりが良いと、近隣の人々が汲みに通う。六地藏隣の「菊屋文具店」で蛇口の専用水栓を500円で購入すれば、以後いつまでも水が汲める。

DATA JR中央線武蔵小金井駅南口から徒歩約4分。8時~20時。小金井市本町1-7-6 ☎042-381-1379(菊屋文具店)



黄金の水の管理をされている菊屋文具店の店主。専用水栓を購入しなくてもカップ1杯分の水は無料で飲むことができる。

武蔵小金井駅

小説の舞台にもなった緑地

美術の森

大正から昭和にかけて活躍した洋画家・中村研一のアトリエ跡に建つ「はけの森美術館」の裏側にあり、かつて中村邸の庭だった緑地が「美術の森」。大岡昇平の小説『武蔵野夫人』の舞台となった地としても知られている。「はけ」と呼ばれる崖や池の中心から水が湧き出し、敷地の外へ流れ出た水路沿いは「はけの小路」として整備されている。

DATA JR中央線武蔵小金井駅南口から徒歩約15分。緑地への入園は無料。小金井市中町1-11-3 ☎042-384-9800(小金井市立はけの森美術館)



竹林と木々に囲まれた池に水が湧き出て、敷地の外へと流れていく。この湧水も「東京の名湧水57選」に選ばれている。

**清涼な木陰の空気とせせらぎの音で
暑さを忘れるひと時**

駅から少し歩いただけで、清流の風景に出会える場所があちこちにある中央線沿線。一服の涼を求めて、夏の散策を楽しもう。



日本庭園の園路は回遊式で、池の周辺をめぐるながら景観を楽しむことができる。木陰から池を眺めているとせせらぎが心地よい。

立川駅 広大な園内で水辺めぐり

国営昭和記念公園

西立川口ゲートから入ってすぐ目の前に広がる「水鳥の池」(写真右)。水辺にはアシやガマなどが茂り、木陰の散策路を歩けば水上を渡ってくる風が心地いい。また園内北側にある日本庭園も水辺ポイントとして見逃せない。庭園の中心に作られた池に東、北の二方向から流れ込むせせらぎは、水の音も涼しげだ。

DATA JR中央線立川駅から徒歩約10分であけぼの口、またはJR青梅線西立川駅から徒歩約2分。西立川口。9時30分~17時(11月~2月は~16時30分、4月~9月の土・日・祝は~18時)、無休(2月第4日曜とその翌日は休)。入園料:15歳以上410円、小中学生80円、65歳以上210円(いずれも一般料金)。☎042-528-1751(管理センター)



国分寺駅

緑豊かな清流沿いの小径

お鷹の道

国分寺崖線からの湧水が集まり、野川に注ぐ小川となって流れる。清流に沿って整備された小径は、江戸時代にこのあたりの村々が尾張徳川家の御鷹場に指定されていたことから「お鷹の道」と名づけられた。地元の人々の環境保護により今ではホテルも棲むようになったほど清らかな小川の流れを追いながらの散策が楽しい。

DATA JR中央線国分寺駅南口から徒歩約15分。国分寺市東元町3丁目・西元町1丁目 ☎042-325-0111(国分寺市観光協会)

西八王子駅

**榎を水面に映す湧水池
葉谷榎池**

「東京の名湧水57選」にも選ばれた湧水。住宅街の中に立つ樹齢数百年といわれている榎の根元近くから、水がこんこんと湧き出て池となっている。池の底までくっきりと見通すことができるほど水が澄んでいて、周囲に植えられた草花を映す水面も美しい。近隣にはほかにも湧水や湧水由来の水路が点在しており、それらを巡って歩くのもおすすめだ。

DATA JR中央線八王子駅北口からバス約18分の「叶谷」下車、徒歩約4分。八王子市叶谷町1079 ☎042-620-7291(八王子市水環境整備課)



シンボリックな存在として地域住民に親しまれている榎の下は、洗い場として使われていた頃の面影を残している。

**涼沿線
TOPICS**

**涼沿線
TOPICS 1**

**水辺をめぐる
ひんやり散歩**



ドコイク?

涼沿線 TOPICS

毎日の暑さをしばし忘れさせてくれる夏の風物詩・花火をはじめ、中央線沿線には涼味いろいろ。この夏はどこから回ろうか。

ドコイク?

涼沿線 TOPICS

2

夜空を焦がす大輪の華

立川駅

趣向を凝らした花火が次々と

立川まつり 国営昭和記念公園 花火大会

打上数 約5000発

開くと直径が約380mにもなる一尺五寸玉をはじめ、大迫力のワイドスターメイン、全国の花火大会で優秀な成績を取めた花火「芸協玉」など趣向を凝らした花火を織り交ぜ、最初から最後まで観客を飽きさせない演出が特色。観覧は広々とした「みんなの原っぱ」で。

DATA 平成28年は7月30日(土)の19時20分から打ち上げ予定。会場:JR中央線立川駅から徒歩約10分(あけぼの口まで)の国営昭和記念公園内「みんなの原っぱ」。 ☎042-527-2700(立川まつり実行委員会)



一尺五寸玉などの大玉を上げる花火大会は都内ではほとんどなく、他ではなかなか見ることのできない迫力だ。



打ち上げ場所が水上だったり観覧席からかなり離れている花火大会が多い中、打ち上げの様子を間近に見られるのが特長だ。

西八王子駅

ラストの仕掛け花火は見逃せない

八王子花火大会

打上数 約3300発

「八王子まつり」の一環として開催される花火大会。連続的に打ち上げるスターメインから、ラストを華麗に演出する仕掛け花火まで、およそ3300発が夏の夜空を彩る。球場内での打ち上げなので、間近で見ることができて迫りも満点。花火に先立ち16時30分から同会場にて「火のまつり」も行なわれる。

DATA 平成28年は7月30日(土)の19時から打ち上げ予定。会場:JR中央線西八王子駅南口から徒歩約15分の「ダイワハウススタジアム八王子」。☎042-643-3115(八王子観光協会)



東小金井駅 知る人ぞ知る地元の名物花火

ヒガコ・サマーフェスティバル

ちびっ子浴衣コンテストや盆踊りなど数々のイベントのほか、屋台も多数並ぶ東小金井の納涼祭「ヒガコ・サマーフェスティバル」で打ち上がる花火は、地元の人以外にはあまり知られていない穴場的な存在。近隣に視界を遮る高い建物が少なく、間近での打ち上げは迫力たっぷり。21時から打ち上げなので仕事帰りにふらりと寄ってみるのもおすすめ。打ち上げ数が少ないのでお見逃しなく。

DATA 平成28年は8月5日(金)・6日(土)の17時30分～21時30分。花火は21時頃から打ち上げ予定。会場:JR中央線東小金井駅南口から徒歩約1分の「日本歯科大グラウンド」。 www.facebook.com/higakominamiguchi

会場は駅のすぐ目の前。花火はもちろん、地元の商店会が出店する屋台も人気だ。

八王子駅 地元の恵みを活かしたサイダー

高尾山天狗サイダー

八王子産の果実を使用したご当地サイダー。平成22年の発売開始以来、毎年原料の果実やその産地を変えつつバージョンアップし、今年は梅坪町のブルーベリーを産地を変えて1万本を限定生産。ブルーベリーの酸味と強めの炭酸が夏にぴったりだ。開発した「道の駅八王子滝山」のほか、八王子駅近くの「Yショップ ippuku」などでも取り扱っている。

DATA Yショップ ippuku(いっぷく):JR中央線八王子駅北口から徒歩約2分。7時～23時(土・日曜・祝日は10時～)、無休。八王子市旭町6-6 ☎042-627-5501

道の駅八王子滝山:JR中央線八王子駅北口からバス約9分の「道の駅八王子滝山」入口下車。徒歩約2分。9時～21時、無休。八王子市滝山町1-592-2 ☎042-696-1201



高尾山 天狗サイダー(245ml) 250円

八王子駅 冷え冷えグルメが揃う地産品ショップ

やまたまや

JR八王子駅構内の地産品ショップ。夏のおすすめは「梅葉匠」と銘打ち、梅を使った和菓子を提供し続ける青梅市「にしむら」が作る、完熟梅の甘露煮が丸ごと一粒入ったゼリー。涼しげな見た目に加えて、すっきりした甘みが夏にぴったり。梅本来の味が楽しめる梅ジュース「しほり梅」も人気だ。さらにこの夏は、p2・3で紹介した「TOYODA BEER」や「多摩の恵」などを扱うクラフトビールフェアも実施する。

DATA やまたまや:JR中央線八王子駅構内。10時～21時、無休。クラフトビールフェアは7月25日～8月7日(商品がなくなり次第終了となる場合があります)。八王子市旭町1 ☎042-620-5165

涼沿線 TOPICS

3

冷え冷えの味で暑気払い



いちごミルク金時白玉 1080円

西荻窪駅 創業50年の甘味処のかき氷

甘いっ子

昭和40年創業、昔ながらの雰囲気を残す甘味処の夏季限定かき氷。人気メニューはいちごミルク。サクサクとしっとり食感のある氷に、果実の粒が残るジャムのような手作りシロップの酸味と練乳の甘さは、まさに暑さを忘れる口福な味わい。トッピングで追加できる柔らかな白玉もぜひ味わいたいところ。

DATA JR中央線西荻窪駅南口から徒歩約5分。11時～18時(なくなり次第終了)、月曜休。かき氷は10月9日まで。杉並区西荻南2-20-4 ☎03-3333-3023



TOYODA BEER 330ml 500円
多摩の恵 パールエール 500ml 626円
しほり梅 170ml 257円



梅ゼリー 185円

最新号 『散歩の達人』8月号 (7月21日発売予定)

巻頭特集/ビールをよりおいしく飲むために

東京ビアグルメ

クラフトビールの人気やフレーバービールの登場などで、新しい動きが出ているビール業界。まだまだ猛暑が続く8月、これらのビールを飲まずして、夏はやり過ぎないという人も多いはず。そんなビールと合わせる最高のツマミは何か。食欲が減退しがちな時季だが、よりおいしく飲むためには、やはり相棒が必要だ。唐揚げ、餃子、ボテサラ……さらには海や山などのシチュエーションにもこだわってみました。ビールの最新事情もお伝えしながら、さまざまな方向から楽しみ方を追求いたします。



※本冊子の情報は2016年6月現在のものです。※料金・営業時間・休園(館)且、イベント内容・期間などは変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。※営業時間・休園(館)日はゴールデンウィーク、お盆、年末年始などは変更になる場合があります。※掲載の写真・地図などは全てイメージです。

デジタルブックでもご覧いただけます。

中央線が好きだ。

中央線が好きだ。マガジン 2016 vol.8
2016年7月発行
発行 | 東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社
制作 | 株式会社ジェイアール東日本企画
編集 | 株式会社交通新聞社
表紙写真 | 小嶋 裕



歳時記&イベントカレンダー

阿佐ヶ谷駅 阿佐谷七夕まつり

その年ごとの流行とアイデアが詰まったハリボテが商店街を飾る。商店街が出演する期間中限定の露店や独自のセール企画も多数。

開催日: 8月5日(金)～9日(火)
場 所: ハールセンター商店街、すずらん通り商店街 および阿佐ヶ谷駅周辺商店街
詳しくはこちら <http://www.asagaya.or.jp/>



八王子駅 八王子まつり

19台もの山車が登場する関東有数の山車まつり。すれ違う時に山車を寄せ、囃子を聴い合う「ぶつつけ」も見どころ。
開催日: 8月5日(金)・6日(土)・7日(日)
場 所: JR八王子駅北口～西放射線ユーロード～甲州街道 周辺
詳しくはこちら <http://www.hachiojimatsuri.jp/>

武蔵小金井駅 小金井阿波おどり大会

地元以外からも多くの「連」が参加し、様々な阿波おどりを披露。浴衣美人コンテストも。
開催日: 7月23日(土)・24日(日)
場 所: JR武蔵小金井駅北口駅前広場・小金井街道北口・Musako通り・南口駅前ロータリー
詳しくはこちら <http://www.koganei-awaodori.jp/>

武蔵小金井駅 ほか 小金井の夏スタンプラリー2016

小金井市内の夏イベントを巡ってスタンプを集めると、商店会で利用できる商品券が当たります。
開催日: 6月25日(土)～8月27日(土) ※対象イベント実施日のみ
主 催: 武蔵小金井活性化協議会、東小金井活性化協議会
詳しくはこちら <http://www.nonowa.co.jp/musashikoganei/>

東小金井駅 nonowaマーケット2016

多摩・武蔵野エリアの食の魅力が大集合。朝採れの新鮮な野菜やスイーツ、地ビールなど、地域の魅力を体験できるマーケットです。
開催日時: 7月16日(土)・17日(日) 10:00～16:00
主 催: 東日本旅客鉄道(株)、JR中央ラインモール
詳しくはこちら <http://www.nonowa.co.jp/higashikoganei/>



9:00 木々と草花の匂いを感じる



照明灯や車止めがこげ茶色に統一され落ち着いた雰囲気のある歩道。橋から上水をのぞきこむと魚が泳ぐ姿も。

三鷹駅から吉祥寺駅へ。玉川上水沿いから井の頭恩賜公園を抜けていくルートは、活気ある駅周辺とはひと味違う、緑の木々に囲まれた絶好の散策路。ウィークデイの午前中は人通りも少なく、いっそうのんびりした時間を楽しめる。



らぼ間
かん
さ時



「のんびりと木陰を歩く朝」

三鷹駅〜吉祥寺駅

風の散歩道

三鷹駅〜万助橋間の玉川上水沿いの道。天然御影石を使った石畳の歩道は、公募によって「風の散歩道」と名づけられた。上水岸に木々や草花が生い茂り、季節ごとの自然を感じながら歩くことができる。

DATA JR中央線三鷹駅南口から徒歩約1分。



9:30 古き時代に思いをはせる



三鷹市山本有三記念館

『路傍の石』などで知られる作家・山本有三が住んだ家を、その生涯と作品を紹介する施設として公開。大正末期に建てられた建物は様々な様式が融合した建築物としても見どころが多く、南側の庭は有三記念公園として無料で開放されている。

DATA JR中央線三鷹駅南口から徒歩約12分。9時30分〜17時、月曜休(祝日の場合は翌日と翌々日休)。入館料:300円。三鷹市下連雀2-12-27 ☎0422-42-6233

10:00 水鳥を眺めて憩いのひと時

井の頭自然文化園水生物園

動物園である本園に対して、水辺の生き物が集められた水生物園。カモやハクチョウ、タンチョウといった鳥類のほか、魚類や両生類、昆虫など、淡水に棲む生き物を幅広く展示している。

DATA JR中央線吉祥寺駅公園口から徒歩約10分、三鷹市山本有三記念館より徒歩約10分。9時30分〜17時、月曜休(祝日の場合は翌日休)。入園料:一般400円、中学生150円、65歳以上200円(いずれも個人の料金)、小学生以下、都内在住・在学の中学生は無料。同じチケットで本園にも入園可能。三鷹市井の頭4-1 ☎0422-46-1100



園内の水生物館では水槽等で生き物を展示。水鳥が水中へ潜り魚を捕らえる様子などを見ることが出来る。

通 勤・通学のピークは過ぎても、多くの人が行き交う平日の三鷹駅。しかし、南口を出てすぐに見えてくる玉川上水の流れに沿って石畳の歩道を歩き始めると、駅前賑わいはすぐに遠ざかる。瀟洒な住宅街ですれ違うのは犬の散歩をする人やジョギングをする人。時間の流れが変わったかのようだ。上水沿いから井の頭恩賜公園

にかけて、高い木々が立ち並び、緑の濃い道が続く。かつて文学者が住んだという洋館へ立ち寄り、井の頭自然文化園水生物園の大きな池で水鳥を眺めたり。週末は多くの人で賑わうこの場所で、周りを囲む木々が作り出す木陰を渡り歩きながら過ごす寛いだ時間。平日の朝だからこそ味わえるちょっとした贅沢かもしれない。

